■関連書籍

本研究会では対馬の歴史や現状を知るためのきっかけとなる本、共創や共同体などに関する本をご紹介します。

・対馬を知るための本

宮本常一『忘れられた日本人』岩波書店　1984年

徹底的なフィールドワークで日本全国をくまなく歩いた民俗学者、宮本常一の代表作です。戦後間もなく、対馬や壱岐の調査を行い、離島振興法の成立に奔走した常一のまなざしを感じてみてください。

<https://www.amazon.co.jp/%E5%BF%98%E3%82%8C%E3%82%89%E3%82%8C%E3%81%9F%E6%97%A5%E6%9C%AC%E4%BA%BA-%E5%B2%A9%E6%B3%A2%E6%96%87%E5%BA%AB-%E5%AE%AE%E6%9C%AC-%E5%B8%B8%E4%B8%80/dp/400331641X>

辻原登『韃靼の馬』日本経済新聞出版社　2011年

江戸自体の対朝鮮貿易を扱った時代小説。国境の島を領土とする対馬藩の存亡をかけて様々な人、思いが行きかいます。

<https://www.amazon.co.jp/%E9%9F%83%E9%9D%BC%E3%81%AE%E9%A6%AC-%E8%BE%BB%E5%8E%9F-%E7%99%BB/dp/4532171083/ref=pd_sbs_14_t_2?_encoding=UTF8&psc=1&refRID=PQ0TBJYAV84YCR9G2F52>

たかぎ七彦『アンゴルモア　～元寇合戦記』

鎌倉時代中期、二度にわたって来襲した元・高麗連合軍。神風が吹いて日本が勝利したことばかりが知られていますが、対馬、壱岐は圧倒的な数の敵によって占領されました。本作は来襲した元軍と戦う宗家や野武士たちのようすを描いたマンガです。

フィールドワークで金田城を訪れる方は読んでおくと感動が倍増します。

<https://www.amazon.co.jp/%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%83%AB%E3%83%A2%E3%82%A2-%E5%85%83%E5%AF%87%E5%90%88%E6%88%A6%E8%A8%98-%E8%A7%92%E5%B7%9D%E3%82%B3%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%82%A8%E3%83%BC%E3%82%B9-ebook/dp/B00T5W76ZQ/ref=sr_1_3?s=books&ie=UTF8&qid=1491370967&sr=1-3&keywords=%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%83%AB%E3%83%A2%E3%82%A2>

司馬遼太郎『街道をゆく　13　対馬・壱岐の道』

司馬遼太郎のライフワークであった『街道をゆく』に収められている。海上の道に注目した考察から対馬、壱岐の文化を読み解きます。

<https://www.amazon.co.jp/%E8%A1%97%E9%81%93%E3%82%92%E3%82%86%E3%81%8F-13-%E6%9C%9D%E6%97%A5%E6%96%87%E8%8A%B8%E6%96%87%E5%BA%AB-%E3%81%971-14-%E9%81%BC%E5%A4%AA%E9%83%8E/dp/4022601833/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1491378319&sr=1-1&keywords=%E8%A1%97%E9%81%93%E3%82%92%E3%82%86%E3%81%8F%E3%80%8013>

・共創や共同体を知るための本

佐々木俊尚　著『そして暮らしは協同体になる』　アノニマスタジオ　2016年

言いだしっぺの私からのおススメは佐々木俊尚さんの『そして、暮らしは共同体になる』です。「上へ、上へ」という上昇志向や「外へ、外へ」という反権力志向でもなく「横へ、横へ」というつながりを重視する時代への移行を取材や実体験に基づいて書いています。他拠点就業や移住なども含まれていて、都会に住む人たちが読むと、今、なにが起きているかわかる内容だと思います。

<https://www.amazon.co.jp/%E3%81%9D%E3%81%97%E3%81%A6%E3%80%81%E6%9A%AE%E3%82%89%E3%81%97%E3%81%AF%E5%85%B1%E5%90%8C%E4%BD%93%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8B%E3%80%82-%E4%BD%90%E3%80%85%E6%9C%A8%E4%BF%8A%E5%B0%9A/dp/4877587551/ref=sr_1_fkmr0_1?s=books&ie=UTF8&qid=1491370563&sr=1-1-fkmr0&keywords=%E3%81%9D%E3%81%97%E3%81%A6%E6%9A%AE%E3%82%89%E3%81%97%E3%81%AF%E5%85%B1%E5%90%8C%E4%BD%93%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8B>

清水 博、三輪 敬之、久米 是志、三宅 美博　著『場と共創」　NTT出版　2000年

2000年代前半まで，「共創」というキーワードでアカデミア分野で行われていた研究には2流派あったようです．   
その流派のひとつが，一冊目の『場と共創』．   
身体と場を介したコミュニケーションと，それによって生じる共創について述べた本です．読み応えがありますが，読んでおいて損はないように思います．

<https://www.amazon.co.jp/%E5%A0%B4%E3%81%A8%E5%85%B1%E5%89%B5-%E6%B8%85%E6%B0%B4-%E5%8D%9A/dp/4757120370/ref=sr_1_1?ie=UTF8&qid=1491370459&sr=8-1&keywords=%E5%A0%B4%E3%81%A8%E5%85%B1%E5%89%B5>

上田 完次、黒田 あゆみ　著『共創とは何か』

もう一冊の『共創とは何か』は流派の2つ目です．   
社会的なジレンマを超えるための共創的意思決定の理論を探った本ですが，理論だけでなく，実世界のリサイクル問題を対象とした枠組みの提案まで行っています．   
シンポジウムの内容を本にしたようで，きちんとまとまっているというよりはアイディアが散りばめられているといった印象の本です．

<https://www.amazon.co.jp/%E5%85%B1%E5%89%B5%E3%81%A8%E3%81%AF%E4%BD%95%E3%81%8B-%E4%B8%8A%E7%94%B0-%E5%AE%8C%E6%AC%A1/dp/4563019100>

■映像資料

対馬観光映像集

・自然編

<https://www.youtube.com/watch?v=6fRrivtkQ2A&feature=youtu.be>

・歴史編

<https://www.youtube.com/watch?v=4H0vo81ADlw&feature=youtu.be>

・特産品編

<https://www.youtube.com/watch?v=g1-GhrxAuOc&feature=youtu.be>

☆Re島MOVIE 対馬篇（電通九州）

<https://www.youtube.com/watch?v=miZ6l6u_FAs>